

Elazzio

SEAT COVER



SUZUKI

WAGON R

WAGON R STINGRAY

WAGON R CUSTOM Z

MAZDA

FLAIR

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

…> 03-04

シートカバー装着前の注意事項

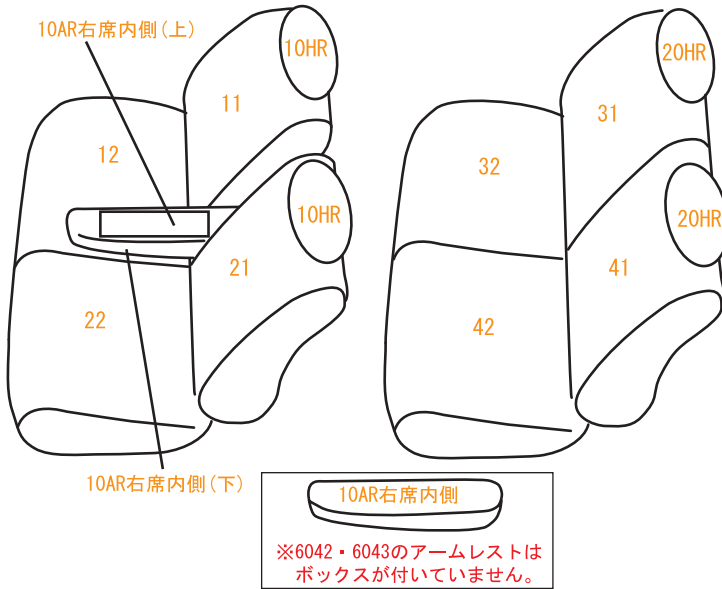
…> 05-26

シートカバーの装着方法

…> 27-28

アフターサービスと生地別メンテナンス方法

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチ (12mm)
- ② プラスドライバー
- ③ クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

1 列目運転席座面（シートリフター装備車） の装着方法

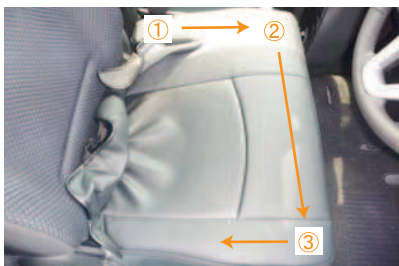
※シートリフター未装備車は8ページからご覧ください。



- 1** 始めに、シートの高さを一番高い位置にします。シートの内側（シートベルトバックル横）にカバーをかぶせます。



- 4** 入れ込んだ生地を背面から引き出します。この時、カバーが張るようにしっかりと引き出して下さい。



- 2** 図の手順でカバーをシート全体にかぶせます。シートの角がフィットするようにして下さい。



- 5** カバー外側面の生地裏（生地と生地の境目辺り）のマジックテープをシートに直接貼り付け固定します。



- 3** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整し、入れ込みやすい角度で行って下さい。



- 6** シート外側面の下側に付いている純正の生地を、プラスチックカバーから引き出します。



- 7** 引き出した生地に、カバー外側面下側の生地裏に付いているマジックテープを直接貼り付け固定します。
※固定した後はプラスチックカバー内側に生地を戻して下さい。



- 8** ヘラ等を使用し、カバー外側面の後ろ側の生地をシートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。隙間は非常に狭くなっているため、慎重に作業を行って下さい。また、生地が入るのはレバーより上の箇所のみになります。



- 9** ヘラ等を使用し、カバー外側面と内側面の一番後ろに付いている生地を、シートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。



- 10** 図のように、シートベルトバックルの収納部分に生地を入れ込みます。



- 11** 入れ込んだ生地に付いているマジックテープをシートベルトバックル収納部の底に直接貼り付けて固定します。



- 12** シート内側面（バックル部）の突起している生地を、シートとシートベルトバックルの隙間に入れ込んだ後、生地をシートとプラスチックカバーの隙間に入れ込んで下さい。



13 外側面は図のようになります。



16 背面に通したベルトと、5ページ4番で引き出した生地についているベルトを固定します。ベルトの固定方法に関しては、17番を参照して下さい。



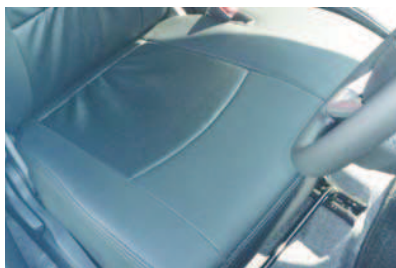
14 内側面（バックル部）は図のようになります。



17 ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締め固定されます。ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意ください。



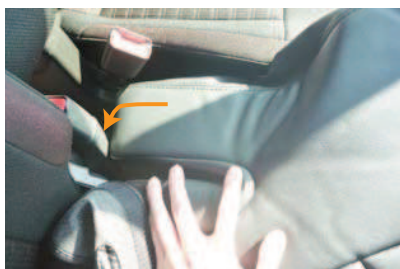
15 カバーの前側に付いているベルトを、シート裏から、背面側へ通します。
※ベルトを背面へ通す際、シートスライドレバー、座面裏の金属バー（前後で1本ずつ）や配線などの上を通すようにして下さい。



18 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面（シートリフター装備車）の完成です。
続きは10ページをご覧ください。

Step 1

1 列目運転席座面（シートリフター未装備車） の装着方法



- 1** シートの内側（シートベルトバックル横）にカバーをかぶせます。



- 4** 入れ込んだ生地を背面から引き出します。この時、カバーが張るようにしっかりと引き出して下さい。



- 2** 図の手順でカバーをシート全体にかぶせます。シートの角がフィットするようにして下さい。



- 5** ヘラ等を使用し、カバー外側面に付いている固定部材を、シートとプラスチックの隙間に入れ込みます。この時、固定部材前後の生地も同時に入れ込んで下さい。



- 3** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整し、入れ込みやすい角度で行って下さい。



- 6** ヘラ等を使用し、カバー外側面、内側面の一番後ろの生地をシートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。



- 7** カバー内側の生地に開けている加工穴からシートベルトバックルを取り出します。



- 8** シートベルトバックル収納部分に生地を入れ込みます。



- 9** 7番でシートベルトバックルを取り出した加工穴の下側に付いているマジックテープを、シートに直接貼り付け固定します。シートの端とカバーの端を合わせるように固定すると綺麗に仕上がります。



- 10** カバーの前側に付いているベルトを、シート裏から、背面側へ通します。
※ベルトを背面へ通す際、シートスライドレバー、座面裏の金属バーや配線などの上を通すようにして下さい。



- 11** 背面に通したベルトと、8ページ4番で引き出した生地に付いているベルトを固定します。ベルトの固定方法に関しては、7ページ17番を参照して下さい。



- 12** カバーのラインを整えて、1列目運転席座面（シートリフター未装備車）の完成です。

Step 2

1 列目助手席座面の装着方法



- 1** 座面開閉用ベルトを引いて座面を開き、前側からカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 4** ひもの固定後、ヘラ等を使用し、シート本体と台座の連結部分の隙間に、ひもの通った生地を入れ込みます。
※内側の隙間は配線などが通っており、非常に狭くなっている為、慎重に作業を行ってください。



- 2** カバーを後ろ側に引っ掛け、シート全体にカバーをかぶせます。
かぶせた後、角がフィットするようになじませ、カバーの加工穴からベルトを引き出します。



- 5** カバー前側から出ているベルトをシートの裏を通して、カバー後ろ側に付いているベルトと固定します。



- 3** カバーの両側面から出ているひもを結び固定します。ひもの固定方法に関しては、25ページを参照して下さい。



- 6** カバーのラインを整えて、1 列目助手席座面の完成です。

Step 3

1 列目運転席背もたれの装着方法

※ワゴンR スティングレーの図で説明していますが、ワゴンRも一部形状は異なりますが、同様の装着方法です。



- 1** アームレストを外します。アームレスト側面のフタをヘラ等を使用して外し、1.2mmのソケットレンチを使用し、アームレストを固定しているボルトを外します。



- 4** 入れ込んだ生地を背面から引き出します。



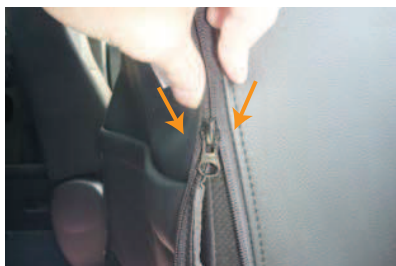
- 2** カバー左右のファスナーを開け、シート全体にカバーをかぶせます。



- 5** カバーの加工穴からヘッドレストの台座を取り出します。
本革を使用したカバーは、生地が伸びにくい為、台座を取り出す際に生地が裂ける場合があります。台座に隠れない程の裂け目が入らないようご注意ください。



- 3** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 6** カバー左右にあるファスナーを生地を内へ寄せながら閉じます。余ったファスナーの端はカバーの内側に入れ込んで下さい。



- 7** カバーをシートに馴染ませます。
図のように、①～③の手順で、カバーの上から下に向かってシワを寄せていき、寄せた生地を11ページ4番と同様にして背面から引き出します。



- 10** カバー背面下部の生地に付いているゴムに金属フックを取り付け、シート裏の金属部分に引っ掛け固定します。



- 8** 引き出した生地に付いているマジックテープと、カバー背面下側の生地裏に付いているマジックテープを固定します。



- 11** 助手席側は座面を開け、BOXを外し、図のシートレール上部の金属の穴（ツメの前に空いている穴）に引っ掛け固定します。



- 9** シートの左右の軸部分の隙間に生地を入れ込みます。
※隙間はほとんどないので、少し入り込む程度になります。



- 12** カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。
助手席側も一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。

Step 4

2列目運転席側座面の装着方法



- 1 座面と背もたれの隙間に生地を入れ込みます。



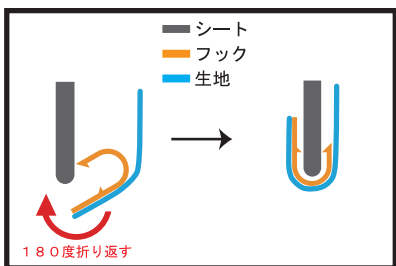
- 2 シートの後ろ側にカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 3 カバーをシート全体にかぶせます。



- 4 カバー外側面の後ろ側と、内側面に付いている固定フック（計3箇所）をシートのフチに引っ掛け固定します。（図は内側面）詳しい固定方法は5番を参照して下さい。
※内側面の後ろ側のフックを固定する際は背もたれを前に倒して下さい。



- 5 生地裏に付いているフックを生地ごと巻き込むように固定します。



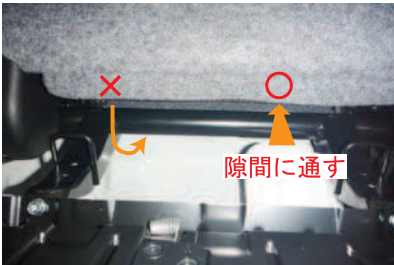
- 6 カバー外側面に付いているマジックテープをシート裏に通し、図のようにシート裏の金属バーに巻き込むようにして固定します。



- 7 シートを1番前にスライドさせた状態で、13ページ1番で入れ込んだ生地が付いているベルトをシート裏から前に通し、カバー前側に付いているベルトと固定します。



- 10 カバー付け根のゴムの付いている生地を、シートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。



- 8 ベルトを通す際、図の背面の下部にある金属バーとシートの隙間に通すようにして下さい。



- 11 10番で入れ込んだ生地が付いているゴムに付属の金属フックを取り付けて、図のようにシート裏で固定します。固定箇所の指定はない為、程よくテンションの掛かる箇所に固定して下さい。



- 9 シートベルトバックル収納部に生地を入れ込みます。



- 12 カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取付けます。

Step 5

2列目運転席側背もたれの装着方法



- 1** ドライバーを使用し、リクライニングレバーの固定ネジを外します。



- 4** 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



- 2** カバーをシート全体にかぶせ、リクライニングレバーとシートの隙間に生地を入れ込みます。



- 5** カバーの加工穴からヘッドレストの台座を取り出します。



- 3** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 6** シート背面上部の純正シートの表皮を固定しているブラックを外します。



- 7** 15ページ6番で外した純正シートの表皮をめくり上げます。シート背面のフレームが見えた状態で、カバー両側面の生地を背面側に回しマジックテープ同士を貼り付けて固定します。



- 10** 15ページ4番で引き出した生地についているマジックテープと、カバー背面下部の生地裏についているマジックテープを固定します。



生地を巻き込むように

- 8** 15ページ6番で外した純正シートの表皮を固定していたブラックを元に戻します。
※フックを戻す際、生地を巻き込むように固定して下さい。



- 11** シート背面のチャイルドシートの固定用アンカーの隙間に生地を入れ込みます。
※隙間は非常に狭いため、慎重に作業を行って下さい。



- 9** カバー内側面のファスナーを生地を内へ寄せながら閉じます。ファスナーの端はカバーの内側に入れ込んで下さい。



- 12** リクライニングレバーを外した時と逆の手順で戻し、カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。
※レバーを戻す際、前側のツメを引っ掛けてから戻すようにして下さい。

Step 6

ヘッドレストの装着方法

1 列目ヘッドレストの固定方法



- 1** ヘッドレストをシートに固定した状態で、カバーを半分程度裏返し、ヘッドレストの先端がフィットするようにかぶせます。



- 4** プラックの固定方法は、板状のプラスチックを包み込むように生地を折り返した状態で、フック状のプラスチックに入れ込みます。



- 2** カバーを左右交互に下し、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 5** カバーのラインを整えて、1 列目ヘッドレストの完成です。



- 3** ヘッドレストをシートから外し、カバー前後に付いているプラックをヘッドレスト裏で固定します。詳しい固定方法は4番を参照して下さい。

2 列目ヘッドレストの固定方法



- 6** ヘッドレストをシートに固定した状態で、前側から引っ掛けるようにしてカバーをかぶせます。



7 カバーをシート全体にかぶせます。



10 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。



8 ヘッドレストを台座から外し、カバー裏のマジックテープを固定します。



9 カバー裏のブラックを固定します。固定方法は17ページ4番を参照して下さい。

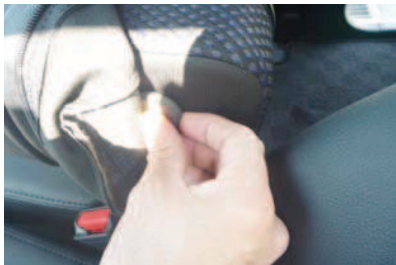
Step 7

アームレストの装着方法

※ 1 列目アームレスト（ボックス無し車）の装着方法



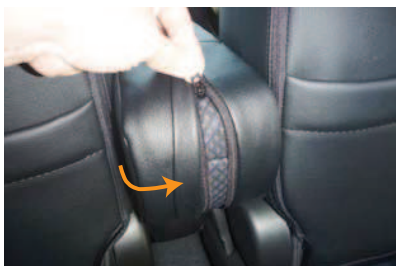
- 1** カバーを半分程裏返し、アームレスト先端がフィットするようにかぶせます。



- 4** フタの戻し忘れにご注意下さい。



- 2** カバーを全体的にかぶせ、アームレストの後ろの生地を内側のみかぶせます。



- 5** 外側の生地をかぶせ、生地を内に寄せながらファスナーを閉じます。



- 3** アームレストを背もたれに戻します。



- 6** カバーのラインを整えて、1 列目アームレストの完成です。

※ 1 列目アームレスト（ボックス付き車）の装着方法

※別車種の図を使用していますが、取り付け方は同じです。



- 1** アームレストのボックスを外します。プラスドライバーでボックス内側のネジを外します。



- 4** アームレストのラインを合わせて全体的にカバーをかぶせ、ファスナーを閉じます。
※後程アームレストを背もたれに戻す際にファスナーは開けますが、ボックスを取り付ける際にカバーのずれを防止する為一度閉じます。



- 2** ボックスの裏にはツメが付いています。ボックスを矢印の方向へスライドさせるように外します。



- 5** カバーのラインを整えます。



- 3** ファスナーを開き、カバーを半分程裏返した状態でアームレストの先端からかぶせます。



- 6** 次にボックス裏のネジをプラスドライバーで外し、ボックスからフタを外します。



7 カバーの角をフタの角に合わせて取り付けます。



10 印を付けた所にカッターなどで切り込みを入れます。
※縫い目を切らないよう注意しながら行って下さい。



8 フタにカバーをかぶせた状態です。



11 切り込みを入れた所から中のネジ穴を取り出します。



9 ネジ穴の位置に合わせてマジックなどで印を付けます。
※角に印を付ける際は縫い目を避けて印を付けて下さい。



12 フタを元に戻していきます。



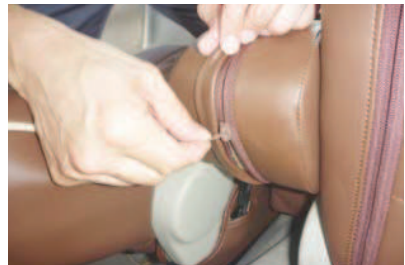
13 フタを戻した状態です。



16 カバーのファスナーを開けてアームレストを図のように戻します。



14 ボックスを元に戻します。
ボックスの裏にツメが付いているので向きを確認しながら戻して下さい。



17 生地を内へ寄せながらファスナーを閉めます。

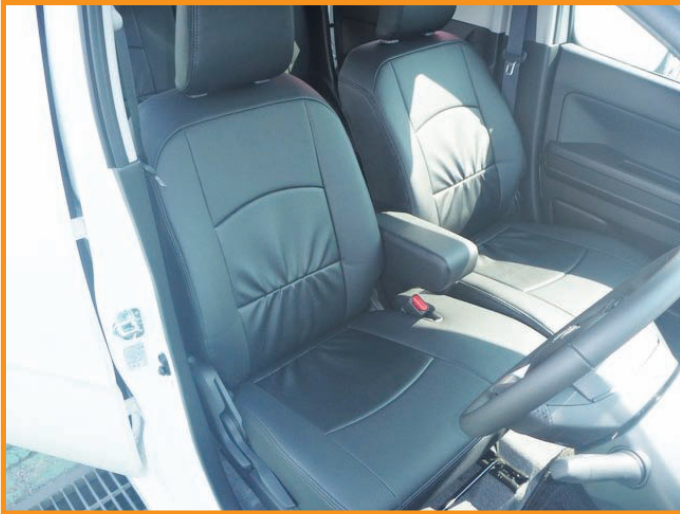


15 アームレストの完成です。
次にアームレストを背もたれに戻します。

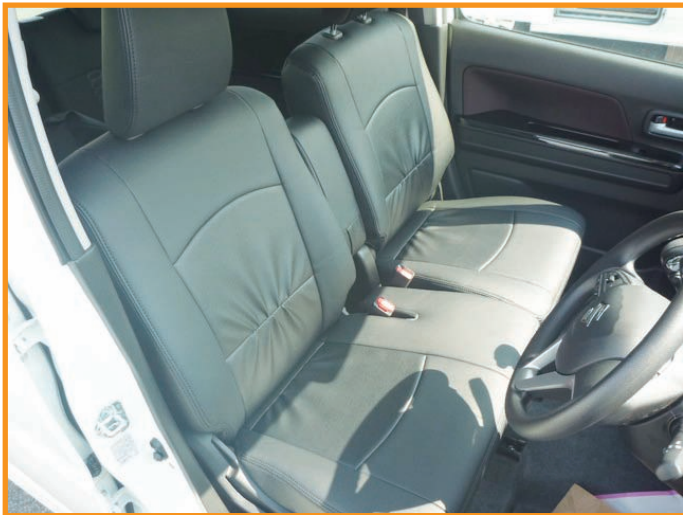


18 カバーのラインを整えて、ボックス付きアームレストの完成です。

完成図



1 列目（ワゴンR・フレア）



1 列目（ワゴンR スティングレー）

完成図

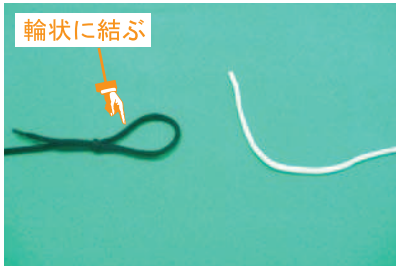


2 列目

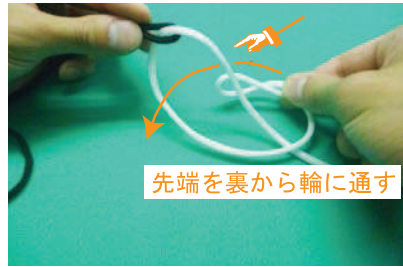


2 列目

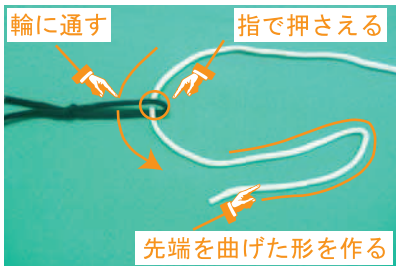
ひもの結び方



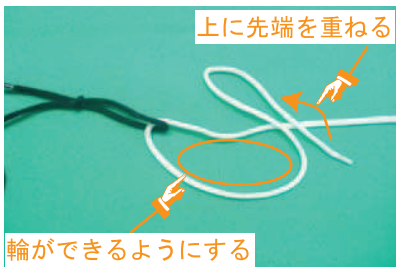
- 1** ひもの結び方です。片方のひもを図のように輪状に結びます。※図はわかりやすいように、色の違うひもを使用しています。



- 4** 輪に、重ねた先端を裏から通します。



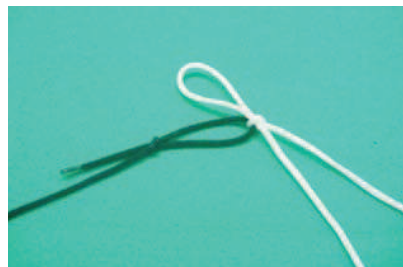
- 2** 輪に、もう片方のひもを通し引っ張ります。ひもが締まっている状態のまま、輪にひもが通っている箇所を指で押さえます。この後の工程は押さえながら行って下さい。また、通したひもの先端を図のような形にします。



- 3** 曲げた先端を通してきたひもの上に重ねます。重ねると図のような輪状の形になります。



- 5** 通した後、カバーから出ている方のひもを引っ張ります。逆のひもを引っ張ると、ひもが抜けてしまうため注意して下さい。



- 6** 引っ張ると図のような形になり完成です。



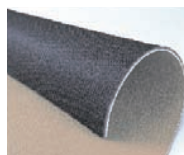
After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケツブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケツブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816